

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

【適用病害と使用方法】 ←この色の部分が2017年2月22日付けで変更になりました。

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びキャプタンを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

①散布剤として使用する場合

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法		
芝	葉腐病(ブラウンパッチ)	300～500倍	0.5～2L/㎡	発病初期	8回以内	散布		
	赤焼病	500～800倍	1～2L/㎡					
西洋芝 (ベントグラス)	炭そ病	300～800倍	0.5L/㎡					
ばら	黒星病	800倍	100～300リットル/10a (100～300ml/㎡)	-				
	茎腐病 立枯病 苗立枯病	600倍						
りんどう	葉枯病 茎腐病 立枯病 苗立枯病							
	斑葉病 茎腐病 立枯病 苗立枯病							
コスモス	そうか病 茎腐病 立枯病 苗立枯病							
	べと病 黒斑病 茎腐病 立枯病 苗立枯病							
シネリア	褐斑病 茎腐病 立枯病 苗立枯病							
	腰折病 茎腐病 立枯病 苗立枯病							
スイピー	根腐病 茎腐病 立枯病 苗立枯病							
	斑点病 茎腐病 立枯病 苗立枯病							
みやくわすれ アンスリウム	茎腐病 立枯病 苗立枯病							
	花き類・観葉植物(ばら、りんどう、せんにちこう、コスモス、ひまわり、シネリア、スイピー、みやくわすれ、アンスリウム、斑入りアマトコロを除く)							
ゆきやなぎ	苗立枯病				1000倍	200～700L/10a (200～700ml/㎡)	収穫前日まで	本剤:5回以内 キャプタン:5回以内 (種子粉衣は1回以内)
せんりょう	炭そ病				600倍			
トマト	疫病		800～1200倍	100～300L/10a (100～300ml/㎡)	収穫前日まで			
	葉かび病 灰色かび病	800倍						
きゅうり	炭そ病 褐斑病	600～800倍	収穫14日前まで					
	べと病	600倍						
しろうり かぼちゃ	炭そ病	400～800倍						
	べと病	600倍						

すいか メロン	べと病 つる枯病	600 倍	100～300 リットル／10a (100～300ml／m <sup>2</sup> )	収穫 14 日前まで	本剤:5 回以内 キャプタン:5 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)	散布
	炭そ病	400～800 倍				
ごぼう	黒斑病	800 倍		収穫 14 日前まで	本剤:5 回以内 キャプタン:6 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 は種後は 5 回以内)	
いちご	灰色かび病 炭そ病 芽枯病	800 倍		収穫 30 日前まで	3 回以内	
いんげんまめ	炭疽病	600～1200 倍		収穫 30 日前まで	本剤:2 回以内 キャプタン:3 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 は種後は 2 回以内)	
たまねぎ	灰色かび病 白色疫病 苗立枯病	600 倍		収穫前日まで	本剤:5 回以内 キャプタン:6 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 は種後は 5 回以内)	
葉たまねぎ				収穫 7 日前まで		
はくさい	黒斑病 白斑病 苗立枯病	600～1200 倍		収穫 7 日前まで	本剤:5 回以内 キャプタン:6 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 は種後は 5 回以内)	
	べと病	600 倍				
小粒核果類	黒星病	800～1000 倍		収穫 21 日前まで	3 回以内	
	すす斑病	800 倍				
ブルーベリー	斑点病	500～1000 倍	2 回以内			
	すす点病 灰色かび病	500 倍				
マルメロ	黒点病	1000 倍	6 回以内			
パイナップル	根腐萎凋病	500 倍	300～400L／10a (300～400ml／m <sup>2</sup> )	収穫 14 日前まで	3 回以内	
パパイヤ	炭そ病	600 倍	200～700L／10a (200～700ml／m <sup>2</sup> )	収穫 7 日前まで	3 回以内	
マンゴー						
もも	縮葉病	600 倍	発芽前	4 回以内		
かき	落葉病 炭そ病 すす点病	1000 倍	収穫 7 日前まで	5 回以内		
ぶどう	晩腐病 褐斑病 灰色かび病 べと病 枝膨病 黒とう病	800 倍	収穫 45 日前まで	2 回以内		
おうとう	褐色せん孔病 灰星病 炭そ病	600～1000 倍	200～700L／10a (200～700ml／m <sup>2</sup> )	5 回以内		
りんご	黒星病				800～1200 倍	
	黒点病	600～800 倍	収穫 14 日前まで	6 回以内		
	斑点落葉病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病					
	炭そ病	800 倍				
なし	赤星病 黒星病 輪紋病	600～1000 倍	収穫 3 日前まで	9 回以内		
	疫病	1000 倍				
	炭そ病	800 倍				

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		総使用回数※	使用方法
			薬量	希釈水量		
西洋芝 (ベントグラス)	藻類 コケ類	芝生育期 (発生初期)	1～2g/m <sup>2</sup>	0.5ℓ/m <sup>2</sup>	8 回以内	散布

②土壌病害に使用する場合

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用液量	総使用回数※	使用方法
アイリス	青かび病	400倍	植付前	-	8回以内	30分間球根浸漬
チューリップ		800~1000倍	球根掘取時及び植付時			球根浸漬
ピーマン	苗立枯病	種子重量の0.2~0.4%	は種前	2L/m <sup>2</sup>	本剤:1回 キャプタン:2回以内(種子粉衣は1回以内)	種子粉衣
とうがらし類		800倍	は種後2~3葉期		本剤:2回以内 キャプタン:2回以内(種子粉衣は1回以内)	ジョウロ又は噴霧機で全面散布
トマト きゅうり なす メロン すいか しろり かぼちゃ		種子重量の0.2~0.4%	は種前		本剤:1回 キャプタン:5回以内(種子粉衣は1回以内)	種子粉衣
		800倍	は種後2~3葉期		本剤:5回以内 キャプタン:5回以内(種子粉衣は1回以内)	ジョウロ又は噴霧機で全面散布
しょうが	根茎腐敗病	塊茎重量の2%	植付前	—	1回	塊茎粉衣

作物名	適用病害虫名	使用量	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
野菜類 豆類(種実) 飼料作物 未成熟とうもろこし	ピシウム・リゾグニア菌による病害 (苗立枯病等)	種子重量の0.2~0.4%	-	は種前	1回	種子処理機による種子粉衣
花き類・観葉植物					本剤:1回 キャプタン:8回以内	

【効果・薬害等の注意】

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等のアルカリ性薬剤及びマシン乳剤との混用はさけてください。
- チューリップに使用する場合は、球根の土をよく落とし、15分間位浸漬してください。
- いちごに対する高温時の散布は、薬害を生ずるおそれがありますので、夏期の防除は高温時をさけて、朝夕などの涼しい時に散布してください。
- パイナップルの根腐萎ちょう病防除に使用する場合は、植付後1ヵ月以内及びその後発生をみたら直ちに、散布液が株元の土壌にも浸透するように散布してください。
- マンゴーに使用する場合は、着色期以降の散布では果実に汚れを生じるおそれがありますので十分注意してください。
- ももの縮葉病防除に使用する場合は、発芽後の若葉には薬害のおそれがありますので、必ず発芽前に散布してください。
- ぶどうに使用する場合は、幼果期～袋掛けまでの散布は、果粉の溶脱や果実の汚染を生じることがありますので十分注意してください。
- おうとうに使用する場合は、5月下旬以降の散布には、固着性の強い展着剤を加用しないでください。
- うめに対する高温時の散布は、薬害を生ずるおそれがありますので、5月下旬以降の防除は高温時をさけて散布してください。
- りんごの斑点落葉病に対して、後期の多発時では効果が劣ることがありますので、初期の防除を主体としてください。黒点病、黒星病などとの同時防除に使用するのが有効です。
- ブルーベリーに使用する場合は、果実肥大期以降の散布では果実に汚れを生じるおそれがありますので十分注意してください。
- コケ類に対して使用する場合は、散布時期を逸さないよう発生初期に本剤を散布し、十分な効果が得られない場合には、14日前後の間隔で反復処理を行ってください。
- 本剤を使用したつまみ菜、間引き菜等の幼植物は食用に供さないでください。
- 本剤で処理した種しょうがは食料や動物飼料として用いないでください。また、収穫時には新しょうがと処理した種しょうがを分別し、種しょうがは食料や動物飼料として用いないでください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。
- 飲誤食などのないように注意してください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性が有りますので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 薬液調製時及び使用の際は保護メガネ、農業用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- ぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物との接触をさけてください。
- 夏期高温時での使用をさけてください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

【魚など環境に対する注意】

- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがありますので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 蚕に対して毒性がありますので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

